

令和7年度 学校経営方針

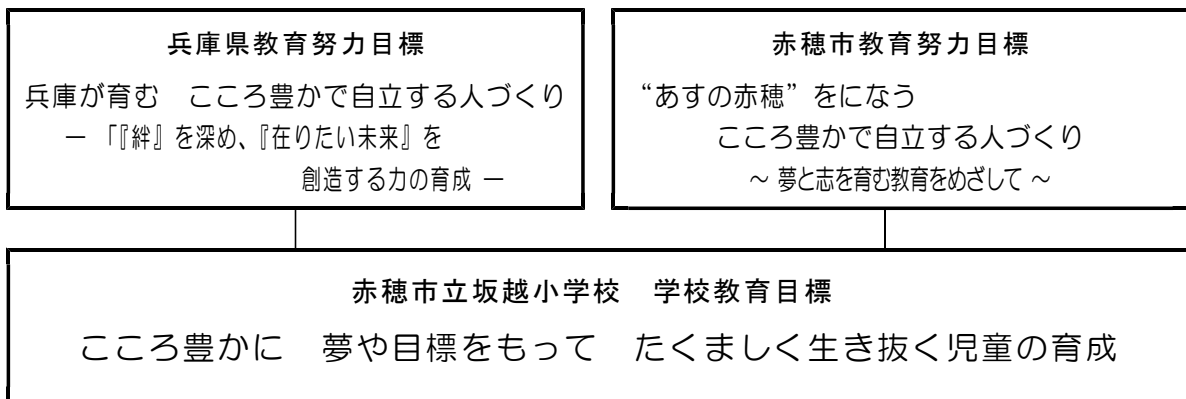
赤穂市立坂越小学校

1 学校経営理念

急激な社会情勢の変化に加え、大きな災害の発生や情報化社会の発展などで、変化の激しい時代を迎えている。そのような状況下でも、相手の思いに気づき行動する力、自分も相手も大切にする心を持ち、夢や目標をもって生き抜く意欲や態度を育てたい。

人権尊重の精神を基盤とし、誰もが生活しやすい社会（ウェルビーイング）を構築する学校教育とする。

2 学校教育目標



3 校 訓

直 ぐ ゆかしく すこやかに

4 めざす姿

<めざす児童像> (1)自ら学び、友と考えを高め合える子 (2)相手の思いに気づき、支え、励ます子 (3)自分のよさや成長、可能性を実感し、夢や目標をもてる子 <めざす教師像> (1)教育に使命感と情熱をもち、協働できる教師 (2)児童、保護者の思いに寄り添い、導く教師 (3)主体的に学び続け、児童の学力向上や心の育成に寄与できる教師 <めざす学校像> (1)個性を大事にする、愛情にあふれた学校 (2)一人一人の居場所があり明日も来たいと思える学校 (3)児童・保護者・地域から信頼される安心・安全な学校
--

5 学校経営の重点目標

- (1) 基礎基本の定着、対話を通じて学び合う授業により、確かな学力を育成する
- (2) 人権を大切にする学校づくりを推進する
- (3) 心の教育を全教職員並びに関係機関と連携しながら進める
- (4) 児童・保護者の思いに寄り添い、特別支援教育、児童支援を充実させる
- (5) キャリア教育を充実させ、目標に向かって生きる意欲や態度を育てる
- (6) 家庭と連携して基本的習慣の形成を行い、褒めて育てる教育を推進する
- (7) 健康・体力の増進を図り、防災・安全教育の充実と体制の整備を行う
- (8) 児童・保護者・地域と共に築く、開かれた学校づくりを行う
- (9) 全教職員の共通理解のもと、ウェルビーイングで組織的な教育活動を進める
- (10) 学校業務の工夫・具体的な改善を図り、子どもと向き合う時間を確保する

6 経営の具体

(1) 確かな学力と学びの保証

①基礎学力の定着

○学習規律の定着

○少人数授業、複数指導、T、Tの推進、個に応じたきめ細かな教育の充実

○「朝学習」の時間を活用した繰り返し学習、ドリル学習、見直し学習

○「さこしの日」を活用した補充学習時間の確保と、個別指導の充実

②自ら考える力の育成

○児童一人一人が自分の考えを持ち、対話を通して学び合う中で思考を練り上げ、
深める授業づくり

○自ら考え、行動する力を養うための問題解決的学習や探究活動の充実

③指導方法の工夫改善

○全国学力学習状況調査を活用したつますきの解消や系統性を重視した指導の充実

○個別最適な学びと協働的な学びを充実させるツールとしてのICT活用並びに
教員のICT活用指導力の向上

○指導と評価の一体化を図った授業改善

(2) 人権を大切にする学校づくり

①人権を大切にしたい授業づくり

○「話す」「聞く」を大切にしたい学習規律

○「みんながわかる、みんなでわかる」全員参加の学級集団づくり

○授業、生活のユニバーサルデザイン化

②心通い合う仲間づくり

○学級づくり・交流学級・心の居場所づくり

○スマイル班異年齢活動

○あいさつ等基本習慣の凡事徹底

③人権教育の推進

○人権課題地域に学ぶ体験学習支援事業

○新しい人権課題への取組（情報モラル教育・多様性）

(3) 心の教育の充実

①道徳教育の充実

○教育活動全体で道徳性の育成

○他者や自己との「対話」による「深い学び」をめざす授業と評価の充実

○「あすなろ参観日」等、地域・家庭への道徳科授業公開の推進

②生徒指導の充実

- 生徒指導担当を核とした組織的対応の徹底
- 全職員による課題の共通理解
- 関係機関と連携した、いじめ・不登校の早期発見・早期対応
- どこまでも児童に寄り添う指導技術の定着

③こころ豊かな体験活動

- 地域での本物体験を通した「ふるさと意識」の醸成
- 達成感や自己有用感を高めるための活動の工夫と事前事後指導の充実

④福祉教育の推進

- 福祉施設や関連機関との連携・高齢者との交流

⑤情操を育てる教育の充実

- 自然や文化・芸術を実際に体験し、表現したり作成したりする心と技術の育成
- 花と緑いっぱいの環境作り

(4) 特別支援教育・児童支援の充実

- ①個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用、情報共有
- ②保護者のニーズに応える教育相談・学校見学等の実施
- ③校内委員会、教育支援委員会の定期的な開催による支援体制の充実
- ④SC、SSW、放課後デイや専門機関、保幼中との細やかな連携
- ⑤通級指導の充実

(5) キャリア教育の充実

- ①「地域の本物」に出会い、生き方を学ぶ体験の充実
- ②キャリアパスポートを活用した継続的な取組
- ③特別活動を核としたキャリア形成

(6) 家庭や関係機関との連携

- ①基本的生活習慣の確立
 - 「早寝・早起き・朝ごはん」運動
- ②道徳性の形成
 - あいさつの励行
- ③担任・学校と家庭や関係機関との連携
 - 課題も善行も共有し成長を喜び合う関係づくり
 - 虐待、ヤングケアラーなどの家庭環境の把握と対応

(7) 健康と安全を守る取組の充実

- ①新しい生活様式をふまえた衛生管理
- ②健康管理・健康診断による保健指導
- ③体力の向上を目指した活動
- ④学校安全と危機管理体制の確立
 - 安全点検の充実・危機管理マニュアルの見直し
- ⑤交通安全指導・交通立番
 - 登下校の安全「いかのおすし」の徹底
- ⑥新たな防災教育と防災計画の推進
 - 災害の種別や特性を踏まえた防災訓練
 - 地域防災体制・研修会
 - 命の尊さ・思いやりの心・共生の心

⑦安全で安心な学校給食

- 地域の特産物を生かした食育の推進
- アレルギーをもつ児童や安全な飲食方法への細やかな配慮

⑧学習環境の整備

- 施設設備の整備・安全・衛生
- 言語環境の改善・掲示物

(8)信頼される、開かれた学校づくり

①開かれた学校

- 学校ホームページ、メール配信、通信等による家庭への情報発信の充実
- オープンスクール等、学校の特色の発信
- 学校支援ボランティアによる教育支援

②体験を通じて地域の魅力を認識する機会の充実

- 自然・文化・歴史・産業・人・もの
- 赤穂義士学習

③参画と協働の学校運営

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）・学校関係者評価の充実
- 地域関連行事への積極的参加と地域に貢献する児童の育成

(9)組織としての学校運営

- ①「子ども」を中心に据えた使命感と高い倫理観の醸成
- ②心通い合う学校・学級経営、共感的な児童理解
- ③学び合う教師集団・学級公開週間等の実施
- ④子どもの安全を守る危機管理体制の整備
- ⑤全教職員で全児童にかかわる体制作り

(10)子どもと向き合う時間の確保

- ①定時退勤日・ノー会議デー等勤務時間の適正化に向けた取組の強化
- ②OJTによる指導技術の伝承等、資質向上
- ③教育課程編成の工夫
- ④学校業務改善推進委員会を中心とした取組による意識の向上